

令和7年度

第2回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和8年3月26日(木) 13:30~15:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 9名
中山正典会長 加藤理文副会長 土屋和男委員
杉山知太郎委員 坪井俊三委員 西田かほる委員
佐口節司委員 小杉達委員 堤 真一委員
事務局 7名
神谷文化財課長・室内調査G長・相浦管理G長
石津歴史文書館館長・谷口主査・渡邊主任・森本主事
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 報告事項
 - ①特別史跡遠江国分寺跡整備工事の進捗状況について
 - ・整備事業は令和11年度の完成を目指して、回廊と中門および排水路の工事を実施した。
 - ・排水路工事は終了し、中門・回廊は令和8年9月終了予定。
 - ②国指定史跡新豊院山古墳群の斜面保護対策について
 - ・国と県の補助金を活用しながら令和7・8年度の2ヵ年かけて工事を行う計画で、令和7年度施行区間は終了した。
 - ③国指定史跡旧見付学校附磐田文庫保存活用計画の認定について
 - ・文化庁から保存活用計画の認定を受けた。
 - ④登録有形文化財（建造物）登録について
 - ・申請を行った掛塚地区の2棟について、令和7年11月17日付で国登録有形文化財への登録の告示がされた。
 - ⑤市指定文化財善導寺の大樟の現況と今後について
 - ・樹勢回復事業を進めた大樟は枯損枝が目立つなど樹勢状況が芳しくないことから天然記念物部会委員の指導のもと、剪定作業を実施した。
 - ・南側の樹勢回復作業が未実施部分については、県の補助金を活用し、令和9年度施行を目指す。
 - ⑥市指定文化財福王寺のケヤキの樹木伐採について
 - ・枯損枝が目立つことから天然記念物部会委員の指導のもと樹勢調査を行った。

- ・来年度、委員の調査結果に基づきながらケヤキの管理者による枯損枝の剪定作業を計画している。
- ⑦市指定文化財木造千手観音菩薩立像の修復について
 - ・市内定光寺に所在する仏像で、令和6年度から2年計画で進めていた修理が終了予定。
- ⑧市指定文化財木造観音菩薩立像（旧粒見堂安置）の所有者および所在場所変更について
 - ・指定文化財所有者から変更届が提出されたので、これを受理し、変更を行った。
- ⑨兜塚古墳総合調査報告書について
 - ・これまでの発掘・測量調査成果をまとめた報告書を3月末に刊行予定。
- ⑩大久保家関係資料の調査について
 - ・令和8年3月に大久保家に関する資料が新たに寄贈された。
 - ・今回の寄贈分も含め大久保家関係資料に関する目録作成を終え、全体の数を把握した。
 - ・今後は、未調査資料の調査を進め、将来的には指定候補として挙げることを考えている。
- ⑪文化財啓発事業等実績
 - ・令和7年8月から令和8年3月までの普及啓発活動実績と事業予定を報告。
- ⑫文化財調査実績
 - ・令和7年8月から令和8年3月までに実施した有形・無形・埋蔵文化財調査実績を報告。

4 閉会



審議会風景